

区 分	担当課	評価	評価の説明
1 港湾施設の充実			
若松地区旅客船ふ頭の整備	港湾課	B	大型クルーズ客船が係留可能な岸壁などの整備や大型クルーズ客船の航行や係留の安全性の検討を行った。
弁天地区の港湾機能および緑地の整備	港湾課	B	緑地護岸の改良工事等を行い，国際水産・海洋都市構想の拠点としての周辺環境の改善を図った。
末広地区緑地の整備	港湾課	B	老朽化が進んだ施設を改修し，周辺の景観と調和のとれた緑地整備を推進した。
既存施設の改良・補修等	港湾課	B	既存施設の機能の維持・延命化を図るため，中央ふ頭地区の橋梁の補修や耐震補強設計，大町地区の道路照明灯の取替のほか，港町地区のドルフィンの老朽化調査を行った。
楯法華港の機能の向上	港湾課	B	既存防波護岸の改良整備を行い，楯法華港の機能向上を図った。
2 港湾の利用促進			
ポートセールスの充実（港湾貨物の集荷強化とクルーズ客船の誘致促進）	港湾空港振興課	B	アメリカ・マイアミ市でのトッププロモーションをはじめ，クルーズ船社などへの積極的なセールスにより，クルーズ客船は28隻，乗客乗員約5万3千人が寄港し，過去2番目の規模となった。また，コンテナ貨物の輸出入量は過去3番目の取扱量となった。
函館港～韓国(釜山港)等との定期コンテナ航路の安定運航	港湾空港振興課	B	平成29年度のコンテナ輸出入量は前年度比0.5%減の3,343TEUで，1便平均90.4TEUとなった。
3 空港の整備			
用地造成(滑走路端安全区域)，滑走路改良	港湾空港振興課	B	国内幹線空港にふさわしい施設の整備を図るため，用地造成や滑走路改良を行った。
4 空港の利用促進等			
国内・国際航空路線網の維持・存続および利用拡大	港湾空港振興課	B	国内線の着陸料支援制度を新たに設けるなど，路線の拡充・新規就航に取り組んでおり，国際線においてはタイの航空会社から就航を検討している旨の意向が示された。
空港民営化（民間委託）に向けた取り組み	港湾空港振興課	B	国が推進する空港民営化（民間委託）に向け，北海道や関係市町と連携し，民間事業者による滑走路等とターミナルビル等の運営を一体的に実施するための実施方針を策定・公表した。